

日本株式市場の急落について

Raku
Yomi

楽読(ラクヨミ)

nikko am
fund academy

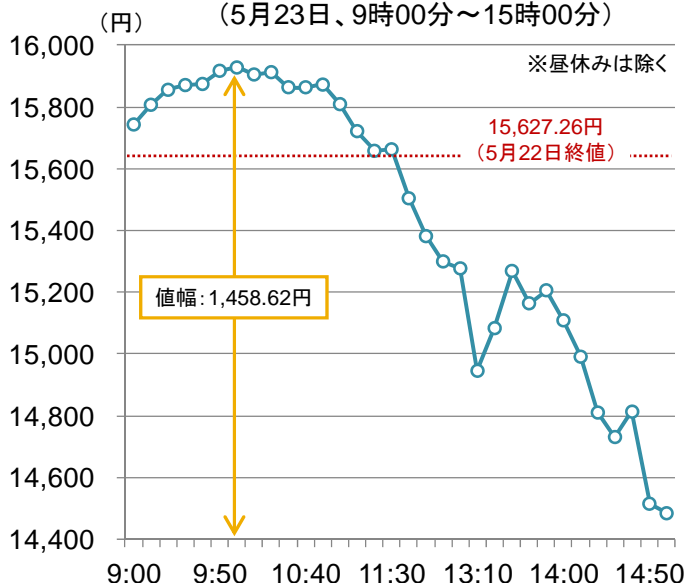
5月23日の株式市場では、日経平均株価が1,450円を超える値幅で乱高下する展開となりました。

朝方は為替の円安傾向を受け、日経平均株価は300円前後高い15,900円台で推移していましたが、午後に入り下げ幅を1,140円超まで拡大し、14,483円で取引を終了しました。午前に英金融大手HSBCが発表した中国の5月の製造業PMI(購買担当者景気指数)が、景況感の境目となる50を7カ月ぶりに割り込み、中国景気の先行き不透明が台頭したこと、またそれに伴ないアジアの株式市場が下落したことなどが嫌気されたものとみられます。また、日本株式のこれまでの上昇が急ピッチで、過熱感が強まっていたため、利益確定の売りに加え、狼狽(ろうばい)売りなどが相俟って、下落幅が大きくなったと考えられます。特に、これまでの上昇率が大きく、また、足元でやや軟調な動きとなっていた新興市場の株式の下落率が大きくなりました。

株式市場の変動率が高まっていることで、短期的には新規マネーの流入は細りやすいため、急ピッチの上昇の再現は容易ではないものとみられます。しかしながら、この日の乱高下は、日本株式の短期間での上昇によって過熱感が高まっていたところに、中国の景況感という外部要因の悪化が利益確定売りの引き金になったものであり、日本の景気や企業業績といったファンダメンタルズに大きな問題があったわけではありません。また、日本企業の好決算が発表される中、15,000円という日経平均株価の水準は、予想PER(株価収益率)で16倍程度と、株価バリュエーション面では割高感が薄まっています。今後は、市場が冷静さを取り戻すにつれて、好業績銘柄を中心に買われる展開になると考えられます。

23日の日経平均株価の推移

(5月23日、9時00分～15時00分)



市場別の決算業績集計表(前期比増減率)

(単位: %)

	決算期	東証 1部	東証 2部	JASDAQ	新興 市場
		(1,559社)	(563社)	(793社)	(185社)
売上高	今期(予想)	3.2	1.3	4.1	10.1
	来期(予想)	4.4	3.7	4.7	10.3
営業利益	今期(予想)	4.7	1.2	12.8	1.1
	来期(予想)	25.7	18.5	14.8	55.0
経常利益	今期(予想)	3.3	▲0.2	10.9	5.4
	来期(予想)	24.1	16.1	13.4	53.3
純利益	今期(予想)	25.4	1.8	22.6	553.8
	来期(予想)	40.6	25.7	18.7	18.1

(注) 新興市場はJASDAQを除く。営業利益は銀行・保険を含まない
今期は2013年1月期～2013年12月期

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成) (出所) 東洋経済「会社四季報 2013年2集」

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。